

1 日時

令和7年(2025年)11月14日(金曜日) 午前10時から午前11時30分まで

2 場所

彦根市清掃センター

3 出席者等

1 委員

NGUYEN QUANG VU委員、川井 小百合委員、
ミヤモト レナト トヨキ委員、劉 百全委員
書面出席 周 晶委員

2 対応者

清掃センター 杉山所長、大原副所長、早川施設係長、足田管理係長、岡副主査

3 事務局

人権政策課 高田課長、大城多文化共生係長、奥村主任通訳

4 傍聴者・報道関係者

報道関係者 2人

4 内容 (●清掃センター職員発言、○外国人住民モニター委員発言)

《施設見学》

清掃センターの各施設の説明を受けた

《感想・意見交換》

【テーマ】ごみの分別や捨て方の効果的な周知について

○ごみの分別は大変難しい。外のPPバンドは埋め立てごみになるなどとてもわかりにくい。

○分別を間違えると、施設にも影響を与える場合や手間がかかるということを初めて知った。
コミュニティに広めようと思う。

○今の施設はいつからあるのか。

●昭和52年に稼働し、48年となる。今後10年は使い続ける予定である。

○施設を長持ちさせるためには分別を徹底する必要があるということがわかった。

○修繕にお金がかかるとのことだが彦根市にはお金がない。国への要望も大切だと思う。

○ごみ袋を値上げすることも必要になってくるのでは。

●考えていけないといけないとは思っている。

○同じプラスチックでも、コップやハンガーや、歯ブラシは埋め立てごみ。洗剤の容器はプラ。

LINEのごみ分別は多言語がない。

○煙突から出ている煙による健康被害はないのか。

●煙突から出ているのは煙ではなく、すべて処理をし終えた水蒸気であり、排出基準を満たしている。

○外国人が多いアパートで分別ができていないという事象はあるか。

●外国人の方に限ったことではないが、いろいろなものが混ざっていたり、出す曜日が違うというところは起きている。

○日常よく使っていて、分別が間違われやすいものだけでも、写真があると役に立つと思う。間違いやすいものだけ動画を作るのもよいと思う。

○今回の施設見学はとてもよかった。処理の過程を公開したら理解する人もいると思う。動画にして流すとよいのでは。

●夏の親子見学会の様子を公式YouTubeで配信している。

○中国では、大都市はコロナ禍前に分別が始まった。分別はするが処理施設が違うだけで、結局全部燃やすことには変わりはないので適当に分別することがある。今回、ごみを分別して出した後にどうなるのか、すべて燃やすのではなくリサイクルもあるなど、何のために分別するのかがわかった。みんな、これを知ると適当には分別しないとと思う。

○外国人住民向けの分別の研修会があったらいいのでは。

○地域のごみ分別の勉強会に参加したことがある。実際にものをつかって、これは何ごみかということをみんなで考えた。日本人も色々間違えることがあった。外国人だけの問題ではないように思う。

○市民向けの施設見学会を定期的に実施した方がいい。

●夏の親子見学会は、気温がかなり高い中であつたため熱中症対策などかなり難しかった。時期をずらして実施することも考えていきたい。

